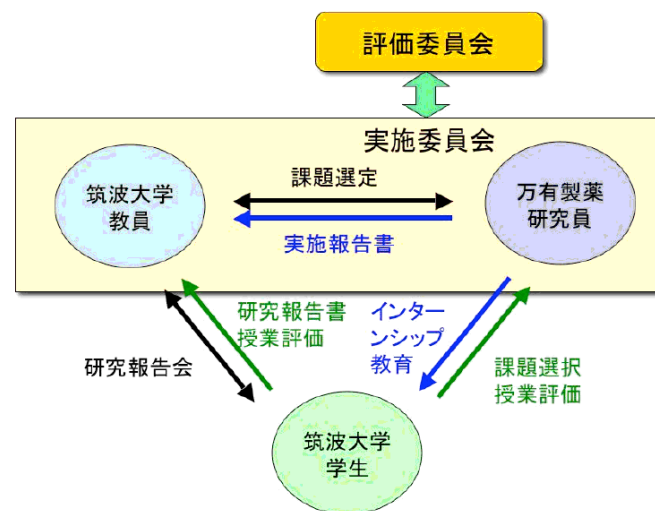
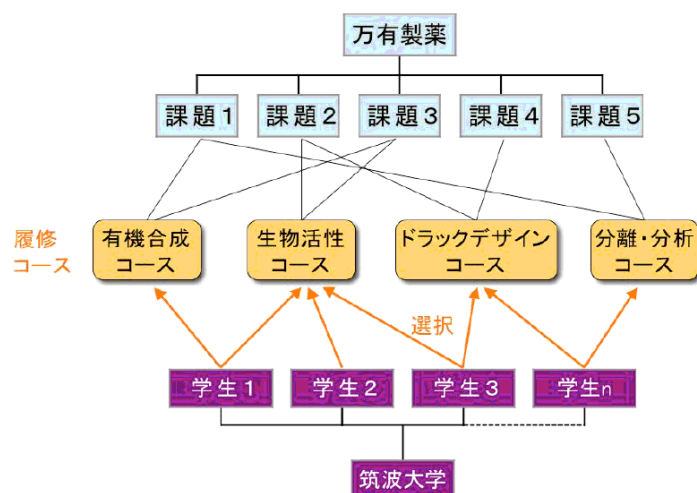




大学と企業とで育てる創薬化学高度人材

- 育成したい人物像:「創薬化学の最先端技術と企業論理を備えた高度専門人材」
- 現状の大学院化学教育では扱わないが、創薬化学企業における研究では必須である課題の実践的なトレーニングを実施
- 創薬化学の開発研究が概観できるよう、いくつかの課題を組み合わせた複数の履修コースを設定



平成 20 年度実施概要

平成 20 年 6 月 17 日 第 1 回講義

平成 20 年 6 月 18 日 第 2 回講義

平成 20 年 6 月 19 日 第 3 回講義

平成 20 年 6 月 20 日 第 4 回講義

講師など：深見竹広、加藤喜章、高村義徳、相良 武、岩間年治、大嶽憲一
(万有製薬)、木越 (筑波大学)

創薬化学に関する基本的内容の講義とインターンシップ実施説明

万有製薬株式会社の概要説明と創薬化学に関する基礎的内容を講義した後、一般的なインターンシップの意義とインターンシップの実施要領を説明した。

**平成20年度文部科学省派遣型人材育成共同プラン
大学と企業とで育てる創薬化学高度人材
講演会**

**日時: 6月17日(火)・18日(水)・19日(木)・20日(金)
(10:00~12:00)**

場所: 筑波大学総合研究棟B棟 講義室(B0112)

内容

6月17日(火): 深見 竹広 「創薬科学・総論—新薬開発におけるProof-of-Concept」

6月18日(水): 加藤 喜章 「医薬品開発における製剤研究および分析研究」

6月19日(木): 高村 義徳 「プロセス化学」

**6月20日(金): 相良 武/ 岩間 年治
「ドラッグデザイン・hit- to-lead-to-development candidate」**

**なお、この講演会は、「インターンシップⅠ」(化学専攻)の一部です。
問い合わせ先: 数理物質科学研究科 教授 木越 英夫(内線4313)**

平成 19 年 7 月 7 日ー インターンシップ実施中

参加学生：2名

有機合成コース 0名

ドラッグデザインコース 0名

分離分析コース 0名

プロセスコース 2名

参加希望学生を4コースに配属し、5週間の実習を行っている。

2008年6月17日 インターンシップ講演会

講師：楠見武徳 徳島大学名誉教授

題目：海のカビが作る薬理活性物質とその有機化学

平成20年度文部科学省派遣型人材育成共同プラン
大学と企業とで育てる創薬化学高度人材
講演会

日時：6月17日(火) (15:00～17:00)

場所：筑波大学総合研究棟B棟 公開講義室(B0110)

楠見 武徳 徳島大学名誉教授
「海のカビが作る薬理活性物質とその有機化学」

問い合わせ先 数理物質科学研究科 教授 木越 英夫

Tel:029-853-4313(内線4313)

E-mail:kigoshi@chem.tsukuba.ac.jp